

## 3月3日「耳の日」にスタート。業界初、スマホ連携の補聴器を使用した 補聴器早割システム“ 50歳以下の初めて補聴器応援プラン【U50】 ”

補聴器ご自宅.com（大阪市）は業界初となる新サービス、補聴器早割システム「U50」（アンダー50）を3月3日「耳の日」にスタートします。このサービスは、難聴を抱えながら働く現役世代“50歳以下の方の為に初めて補聴器”応援プランです。

補聴器早割システム【U50】は、最初に3回分の補聴器調整料3万円を支払うと、スマホと連携する補聴器（機種は限定）を半額で購入できるというもの。スマホを「リモコン」代わりにして、音量や場面毎に音質をワンタッチ切り替えするなど、ユーザー自身が微調整できる補聴器がこの1年で急増しています。一方で、補聴器の価格体系は、高齢者を念頭に置いた“複数回分の調整料”を含める一律価格提示が一般的です。（2015年補聴器の市場平均価格は両耳で約20万円）

今回の新サービスでは、自らスマホで微調整を行え、一般的に「雑音」と称される周囲の生活音にも早期の順応性がある50歳以下の補聴器初心者を対象者とします。結果、高齢者と比べ、購入後の微調整の回数は減少。調整料をコストダウンさせることで、補聴器の半額提供を実現。価格面から、働く現役世代の補聴器早期使用を促してゆくのが本サービスの目的です。（※4度目以降の追加調整希望者には1回あたり調整料、3000円に対応します。）

### ＜本プラン実施の背景＞

2016年4月からの道路交通法改正に伴い（現時点では予定）、難聴者も補聴器装用で一定の条件を満たせば、第2種免許の取得が可能になることが挙げられます。また、最新の補聴器市場調査、ジャパントラック2015（日本補聴器工業会調べ）によると、年代別調査で、難聴を自覚する45歳から54歳の割合は7.2%と、前回2012年の調査から0.6%上昇しています。（※人口調査に基づいた 基数：14,316人を代表サンプル）「仕事を持っている補聴器所有者の90%は補聴器が仕事上で役立っている」「補聴器所有者は補聴器が難聴者にとって、出世・適切な仕事・高い報酬を得るために役立っていると認識している」という補聴器使用者を対象としたレポートも合わせて発表されました。（基数：416人補聴器所有者、基数：890人補聴器非所有者）

### ＜今後の展開＞

「大きくて目立つ」「格好悪い」などマイナスなイメージがある補聴器ですが、今回の新サービスをきっかけに、50歳以下のユーザーが、仕事場で堂々と「目立たず格好いい補聴器」を活用することで、「きこえづらから補聴器を着けているだけ」となる流れをつくってゆきたいと思います。

### ＜補聴器ご自宅.comについて＞

2012年11月末、奈良県唯一となる出張訪問専門の補聴器店として開業。2014年11月に大阪市天王寺区上本町に補聴器相談所開設。関西初の有料相談「補聴器セカンドオピニオン」サービス開始代表・中村雅仁は補聴器業界では初となる認定補聴器技能者の単独執筆書籍「間違いだらけ聴器選び」（コスモ21社）を2014年10月に出版。（AMAZONランキング最高2位※耳鼻部門）独立前は、ドイツの補聴器メーカー、シーメンスに12年間勤務。受けた相談件数は5700件以上。

- 補聴器ご自宅.com 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5丁目3-7 ミシン機友会館4F  
TEL：06-4305-7904 FAX：06-4305-7905 担当：中村 雅仁  
ホームページ：<http://kikoe.net> メール：[masajin14@hochoki-gojitaku.com](mailto:masajin14@hochoki-gojitaku.com)